

平成30年度
臨床研修医募集要綱
及び
研修プログラム



秋田県厚生農業組合連合会
平鹿総合病院

〒013-8610

秋田県横手市前郷字八ツ口3番1

TEL (代表) 0182(32)5121

FAX 0182(33)3200

URL <http://www.hiraka-hp-yokote.akita.jp/>

E-mail: hrkjmsom@aira.ocn.ne.jp

平成 30 年度 臨床研修医募集要綱

平鹿総合病院は平成 30 年度臨床研修医を下記により募集します。

1. 募集人員 10 名
2. 応募資格 (1) 平成 30 年医師国家資格受験予定者
(2) 平成 17 年以降の医師国家試験合格者で、かつ、臨床研修未履修の者
3. 申込手続 (1) 申込期限 平成 29 年 7 月末日 (予定)
(2) 提出書類 ア. 研修申込書 (別紙様式最終頁)
イ. 履 歴 書 (病院所定の様式)
ウ. 医師免許証の写し又は大学卒業見込証明書
4. 送 り 先 〒 013-8610 秋田県横手市前郷字八ツ口 3 番 1
平鹿総合病院 総務管理課
5. 選考面接 考査日は平成 29 年 8 月中旬 (予定)
尚、採否の結果は平成 年 月 日までに本人宛通知します。
6. 初期研修医の身分および待遇
 - 1) 身分：正職員
 - 2) 報酬：給与
一年次 月額 499,800 円
二年次 月額 531,400 円
賞与 一年次 月額 752,760 円
二年次 月額 1,250,400 円
 - 3) その他手当：研修期間中日当直業務・検診業務に従事した場合は
手当を支給する (時間外手当あり)
学会参加費の支給あり
講習会参加費用の支給あり
 - 4) 社会保障あり (健保、年金、雇用)
 - 5) 宿舎あり、もしくは 5 万円までの補助
 - 6) 医師賠償責任保険 (病院にて加入、自己負担なし)

平 鹿 総 合 病 院

沿 革

昭和 8 年(1993 年)医療組合に始まる。戦後、農協法の施行に伴い秋田県農業組合連合会に移行し、横手市・平鹿郡おおよそ 10 万人の地域の中核医療機関として発展してきた。農村も背景にしていることもあり、“農村医学”を旗印にして地域医療に専念している。“より高度な臨床”、“より深い研究”、“より広い教育”さらに“より積極的な保健活動”の 4 つの柱を病院の理念としている。平成 19 年 4 月には横手駅前旧病院跡地より西方 1.5km の地に新築移転し、患者さんの療養環境の改善はもとより医療安全や感染対策に配慮した病棟・外来・手術室の構造、効率の良い救急センターや緩和ケア病棟の新設など、さらに良い教育環境の研修が行われている。これらのハード面に加え、病院運営のソフト面が評価され、平成 21 年 6 月には病院機能評価を受審、認定を受け、平成 26 年には更新審査により 3rdG:Version1.0 の認定を受けている。

初期臨床研修に関しては、昭和 43 年(1968 年)に旧研修医制度が発足して以来、主として東北大学および秋田大学より内科、外科を中心に毎年 5 人～10 人、平均 7 人の初期研修医を受け入れ教育してきた(平成 25 年度までの過去 46 年間に 317 人の初期研修医を受け入れている。また、平成 16 年度の新医師臨床研修制度からは全国の医学生の病院見学等を受け、マッチングに至っている)。昭和 57 年(1982 年)には臨床研修指定病院に認定され、平成 16 年度の新医師臨床研修制度では単独型臨床研修病院、平成 20 年度管理型臨床研修病院・基幹型臨床研修病院として現在に至っている。

概 況

名 称	秋田県厚生農業協同組合連合会 平鹿総合病院
所 在 地	〒 013-8610 秋田県横手市前郷字八ッ口 3 番 1 電話 0182-32-5121(代表) FAX 0182-33-3200
併 設 施 設	日本農村医学研究会秋田県支部農村医学研究所 農村健診センター 平鹿訪問看護ステーション 平鹿指定居宅介護支援事業所
敷 地 面 積	98,952.18㎡
建 物 延 面 積	44,291.82㎡
付 属 建 物	住 宅…………… 3 棟 (賃貸マンション、アパート)
病 床 数	一般病棟 580 床 結核病床 6 床 計 586 床
承 認 指 定	救急告示病院・臨床研修指定病院・外国人医師修練指定病院・ 平鹿訪問看護ステーション・災害拠点病院・エイズ拠点病院・ 居宅介護支援事業所・へき地医療拠点病院・がん診療連携拠点病院・ 地域周産期母子医療センター

施設承認等

○基本診療科の施設基準等に係る届出

ハイケアユニット入院医療管理料1、地域包括ケア病棟入院料1（看護配置加算）、急性期看護補助体制加算50：1、臨床研修病院入院診療加算、救急医療管理加算・乳幼児加算、妊産婦緊急搬送入院加算、診療録管理体制加算1、医師事務作業補助体制加算（15対1）、療養環境加算、重症者等療養環境特別加算、がん診療連携拠点病院加算、医療安全対策加算1、感染防止対策加算1、褥瘡ハイリスク患者ケア加算、ハイリスク妊娠管理加算、ハイリスク分娩管理加算、精神疾患診療体制加算、小児入院医療管理料4（プレイルーム加算）、無菌室治療管理加算、患者サポート体制充実加算、データ提出加算2のイ、退院支援加算2のイ

○特掲診療科の施設基準等に係る届出

高度難聴指導管理料、糖尿病合併症管理料、がん性疼痛緩和指導管理料、がん患者指導管理料、地域連携小児夜間・休日診療料1、院内トリージ実施料、夜間休日救急搬送医学管理料、開放型病院共同指導料、ハイリスク妊産婦共同管理料I、がん治療連携計画策定料、がん治療連携管理料、薬剤管理指導料、医療機器安全管理料1、在宅患者訪問看護指導料、造血器腫瘍遺伝子検査、HPV核酸検出、検体検査管理加算（IV）、胎児心エコー法、ハットアップテイル試験、皮下連続式グルコース測定、神経学的検査、コンタクトレンズ検査料1、画像診断管理加算1、CT撮影（16列～64列未満）、大腸CT撮影加算、MRI撮影（1.5～3テスラ未満）、抗悪性腫瘍剤処方管理加算、外来化学療法加算1、無菌製剤処理料、心大血管疾患等リハビリテーション料（I）、脳血管疾患等リハビリテーション料（I）、運動器リハビリテーション料（I）、呼吸器リハビリテーション料（I）、リハビリテーション初期加算、がん患者リハビリテーション料、集団コミュニケーション療法料、透析液水質確保加算、下肢末梢動脈疾患指導管理加算、組織拡張器による再建手術、乳がんセンチネルリンパ節加算2、乳腺悪性腫瘍手術（乳頭乳輪温存乳房切除術）、ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術、経皮の中隔心筋焼灼術、ペースメーカー移植術及び交換術、両心室ペースメーカー移植術・交換術、植込型除細動器移植術及び交換術、両室ペースメーカー機能付き植込型除細動器移植術及び交換術、大動脈バルーンポンピング法、腹腔鏡下肝切除術、早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術、体外衝撃波腎・尿管結石破碎術、輸血管理料I、輸血適正使用加算、貯血式自己血輸血管理体制加算、人工肛門・膀胱造設術前処置加算、高エネルギー放射線治療、テレパロロジーによる術中迅速病理組織標本製作、病理診断管理加算、歯科外来診療環境体制加算

◎診療科

内科、消化器・糖尿病内科、循環器内科、呼吸器内科、血液内科、神経内科、外科（一般外科、小児外科）、乳腺外科、消化器外科、小児科、心臓血管外科、脳神経外科、産婦人科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、形成外科、放射線科、精神科、麻酔科、リハビリテーション科、病理診断科、歯科 25科

◎院内勉強会

全科抄読会	1回/週	合同症例検討会	
臨床病理検討会	1回/月	(消化器・糖尿病内科と外科)	1回/週
症例検討報告会	1回/月	(消化器・糖尿病内科と病理)	1回/週
		(循環器内科と心臓血管外科)	1回/週
		循環器・呼吸器・血液内科	5回/週
		外科	1回/週
		消化器・糖尿病内科	5回/週
		その他の科	随時

◎図書

洋書	1,458冊
和書	2,830冊
専門雑誌(洋書)	26種類
”(和書)	39種類

◎Web等

メディカルオンライン
 医中誌
 UpToDate

◎医療機器整備

- | | |
|-------------------------|------------|
| ・ライナック(直線加速器) | ・生化学自動分析装置 |
| ・磁気共鳴コンピューター断層撮影装置(MRI) | ・CCU監視装置 |
| ・2管球マルチスライスCT(128列) | ・ICU用監視装置 |
| ・体外衝撃波結石破碎装置 | ・人工透析装置 |
| ・頭腹部血管X線撮影装置 | ・心血管X線撮影装置 |
| ・X線テレビ撮影装置 | ・ガンマーカメラ |
| ・ハーバードタンク他リハビリ用機器 | ・人工心肺装置 |
| ・色素強調内視鏡装置 | ・超音波内視鏡装置 |

◎職員

	医師	保健師	助産師	看護師	准看護師	薬剤師	放射線技師	臨床検査技師	臨床工学士	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	視能訓練士	管理栄養士	その他
常勤数	63	6	18	382		13	18	28	11	16	6	3	2	6	55
臨時・嘱託	7	1	2	44	17		5	5						1	174

(平成29年5月1日現在)

専門医（認定医）教育病院等学会の指定状況

日本内科学会認定医制度教育病院
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
日本呼吸器学会認定施設
日本高血圧学会専門医認定施設
日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設
日本外科学会外科専門医制度修練施設
日本消化器外科学会専門医修練施設
日本整形外科学会専門医制度研修施設
日本泌尿器科学会専門医教育施設
日本病理学会研修認定施設B
日本病理学会病理専門研修プログラム基幹施設
日本臨床細胞学会認定施設
日本臨床細胞学会教育研修施設
日本脳神経外科学会専門医認定制度指定訓練施設
日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
日本消化器がん検診学会認定指導施設
日本消化器病学会専門医制度認定施設
日本消化器内視鏡学会認定制度指導施設
日本乳癌学会認定医・専門医制度認定施設
日本形成外科学会認定医研修施設
日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
日本周産期・新生児医学会周産期母体胎児専門医暫定研修施設
秋田県医師会母体保護法指定医師研修機関
母性保護法指定設備医療機関
日本がん治療認定医機構認定研修施設
日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設
ステントグラフト実施施設
日本動脈硬化学会専門医制度教育病院
日本消化管学会胃腸科指導施設
乳房再建用インプラント実施施設
乳房再建用エキスパンダー実施施設
呼吸器外科専門医制度秋田大学医学部附属病院関連施設
日本リウマチ学会教育施設
日本病態栄養学会栄養管理・NST実施施設
日本糖尿病学会教育関連施設
日本心血管インターベンション治療学会研修施設
日本産科婦人科学会周産期登録施設
三学会構成心臓血管外科専門医認定医機構認定修練施設
日本血液学会血液研修施設
日本透析医学会専門医制度秋大医教育関連施設

初期臨床研修プログラム

<研修理念>

医師としての人格をかん養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう、基本的な診療能力を身に付ける。

および『平鹿総合病院の理念』

- より高度な臨床
- より深い研究
- より広い教育
- より積極的な保健活動

を実現するため、臨床医に共通して求められている基本的な知識、技能、態度の習得を目指す。

<研修概要>

百聞は一見にしかず。百見は一考にしかず。百考は一行にしかず。百行は一果にしかず。

「実践躬行（じっせんきゅうこう）」

どの科の研修でも、決して受け身にならず、自ら求めて研修する姿勢を大事にしている。

<研修内容>

1 年次（基本的な診断、治療方針の立て方、手技の習得を目標にし、細切れでない研修）

- 3 ヶ月：外科
- 3 ヶ月：消化器糖尿病内科
- 3 ヶ月：循環器（呼吸器）内科
- 1 ヶ月：救急、脳神経外科
- 2 ヶ月：血液内科

2 年次

- 1 ヶ月：地域医療
（市内開業医、大森病院、羽後病院、湖東病院、かつの厚生病院など厚生連病院）
- 1 ヶ月：小児科
- 1 ヶ月：産婦人科
- 1 ヶ月：精神科（研修協力病院である横手興生病院で研修）
- 1 週間：保健所研修
- 8 ヶ月：自由選択（内科外科の他に、心臓血管外科、整形外科、泌尿器科
脳神経外科、形成外科、耳鼻科、泌尿器科、病理診断科、検査科など）

希望者は秋田大学の麻酔科、東北大学での救急科、神経内科および他の厚生連病院でのたすきがけも可能

なお救急研修は、1 年次の 1 ヶ月のほか、当直研修など合わせて 2 ヶ月以上確保
救急研修

A 当直：17 時から 22 時 B 当直：22 時から翌朝

1 年次

- 4 月から 6 月：見習い A 当直月 4 回
- 7 月から指導医とともに 3 人めとして A 当直月 3 回
- 11 月から指導医とともに 2 人目として A 当直月 2 回

2 年次

- A と B 当直合わせて月 3～4 回
- 各科の救急当番、ICU 当直あり
- その他希望者は、東北大学病院救急科にたすき掛け研修可能

研修スケジュール例

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年	外科	外科	外科	循環器	循環器	循環器	消化器内科	消化器内科	消化器内科	血液内科	血液内科	脳神経外科
2年	形成外科	麻酔科	麻酔科	脳神経外科	脳神経外科	産婦人科	地域	小児科	精神科	外科	外科	外科
1年	血液内科	血液内科	脳神経外科	外科	外科	外科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	循環器	循環器	循環器
2年	精神科	産婦人科	小児科	地域	消化器内科	整形外科	形成外科	泌尿器科	耳鼻咽喉科	麻酔科	麻酔科	血液内科

<プログラム参加施設>

基幹型病院：秋田県厚生連 平鹿総合病院

協力型病院：

秋田大学医学部付属病院（麻酔科）

横手興生病院（精神科）

羽後町立羽後病院（地域医療）

秋田県厚生連かづの厚生病院（地域医療）

秋田県厚生連能代厚生医療センター

秋田県厚生連大曲厚生医療センター

秋田県厚生連雄勝中央病院

八木橋医院

協力施設：横手市保健所

東北大学病院（救急科、神経内科）

横手市立大森病院（地域医療）

秋田県厚生連湖東厚生病院（地域医療）

秋田県厚生連北秋田市民病院（地域医療）

秋田県厚生連秋田厚生医療センター

秋田県厚生連由利組合総合病院

福嶋内科医院

おぎわら内科診療所

秋田県赤十字血液センター

<研修課程>

到達目標

各科研修期間における、研修医が到達すべき目標（行動目標、経験目標）は研修医マニュアル参照

方 略

各配属科の指導医の指示のもと、各科スケジュールに沿って目標達成に向けて研修する

勤務時間

所定勤務時間：8時30分から17時（ただし研修の状況、必要に応じて、勤務時間外においても自主的判斷により自己研鑽に努めるものとする）

当直あり

<研修評価>

各科終了時の研修医評価

研修医は各科研修終了時、評価表に基づいて自己評価を行う。

担当指導医も評価表に基づいて評価する。

コメディカル評価として、各科の病棟師長も評価表に基づいて評価する。

研修管理委員会での評価

研修管理委員会では総合評価を行うとともに、必要あれば本人への直接指導も行う

指導体制の評価

研修医は各科研修終了時、評価表に基づいてその科の研修体制、指導体制の評価を行う

研修管理委員会では評価表に基づき、各科での指導体制を評価する

研修プログラムの評価

研修管理委員会では提出された各種評価表や研修記録、各科指導医、研修医の意見も参考に、プログラムや研修上の問題点を定期的に評価・検討する

<プログラム終了の認定>

規定の研修を修了した時点で、研修管理委員会での修了認定に基づき、病院長は修了証書を授与する

平成 29 年度研修医講義予定

講義はカンファレンスルームで 17 時から 19 時頃までです。

- 4月6日(木)
齊藤研院長：医師の心得と責任
医事企画課：保険診療上の注意(1)
- 4月10日(月)
佐藤看護部長：看護部門のしくみと働き
齊藤事務長：事務部門のしくみと働き、地震火災時等緊急対応
病歴室スタッフ：電子カルテの使い方
伏見悦子研修責任者：臨床研修の到達目標について
- 4月13日(木)
大日向副師長：地域連携室の機能と役割
医事企画課：DPC、地域包括ケア病棟、集中治療病棟について
中田琢也ケースワーカー：MSWの業務について、各種診断書の記載法
高橋俊明副院長：検診の体制と診察のポイント
- 4月17日(月)
栄養科副技師長：食事療法の留意点
武石茂美検査科技師長：臨床検査の概要
三浦豊彦リハビリ科技師長：リハビリ科の概要、リハビリ処方のみかた
伏見進副院長：医療安全について
- 4月20日(木)
CE部門：医療用ガス、各種医療機器の取り扱い方
佐藤文昭放射線科技師長：放射線被曝の予防、放射線治療の実際
加藤千里薬剤長：処方および麻薬管理上の留意点
- 4月24日(月)
齊藤昌宏先生：病理解剖、病理診断、イントラネットについて
高橋俊明副院長：抗生剤の使い方、院内感染予防、ICUについて
- 4月27日(木)
伏見(悦)／石川師長：在宅医療、訪問看護、介護保険について
島田友幸先生：輸液療法の留意点
- 5月1日(月)
武田郁央先生：ショックの治療
太田真澄先生、内藤副師長：褥瘡の予防と治療
武田郁央先生、緩和ケア専門ナース：緩和ケアについて
- 5月8日(月)
佐藤広規先生：栄養療法の理論と実際
加藤雄平先生：農薬中毒のみかた
佐藤陽子先生：当直における小児のみかた
- 5月11日(木)
沼倉忠久先生：レスピレーターの取り扱い(2)
堀口聡副院長：救急医療と当直医の責任・心得、死亡診断書の書き方
深堀耕平先生：救急蘇生法、電氣的除細動(AEDも含む)
- 5月15日(月)
加賀谷聡先生／検査科主任：輸血の適応と実際・手続きと業務
安藤則昭 CEセンター：レスピレーターの取り扱い(1)
- 5月18日(木)
洞口正志先生：外傷処置の基本
榎本好恭先生：緊急手術適応、外科救急患者のみかた
寺澤秀一教授：救急診療について
- 5月22日(月)
横手興生病院杉田院長：精神科疾患のみかた
大八木秀明先生：不明熱および膠原病のみかた
久米正晃先生：貧血のみかた
- 5月25日(木)
三森展也先生：CD 腸炎の診断、管理
太田真澄先生：顔面、四肢外傷のみかた、火傷の初期治療
- 5月29日(月)
武田智先生：心不全のみかた
沼倉忠久先生：成人気管支喘息発作、COPD、喀血のみかた
- 6月1日(木)
中嶋壮太先生：救急での不整脈のみかた
堀口聡副院長：胸痛を主訴として来院した患者のみかた
深堀耕平先生：肺動脈血栓塞栓症のみかた
- 6月5日(月)
奥山慎准教授(秋田大学腎臓内科)：腎疾患のみかた
- 6月8日(木)
中嶋壮太先生：意識障害の鑑別診断
伏見進副院長：脳卒中の初期治療、手術適応、頭部外傷のみかた
佐藤広規先生：代謝性昏睡の診断と治療
- 6月12日(月)
鈴木均先生：当直における整形外科患者のみかた
沼倉忠久先生：当直における胸部写真のみかた
齊藤隆志先生：耳鼻科救急患者のみかた、挿管困難時の気道確保法
- 6月15日(木)
小原幹隆先生：産婦人科救急患者のみかた、妊娠・授乳期と薬剤
鈴木丈博先生：泌尿器科救急患者のみかた、緊急透析の適応
相田弘秋副院長：心臓血管外科救急患者のみかた
- 6月19日(月)
近藤類先生：当直における頭部写真・CTのみかた
柴田憲一先生：痙攣発作の初期対応
寺田林太郎先生：歯科救急患者のみかた
- 6月22日(木)
堀川洋平先生：腹痛を主訴として来院した患者のみかた
水溜浩弥先生：当直における腹部写真のみかた
佐藤広規先生：糖尿病患者のみかた
- 6月26日(月)
すずき皮膚科院長：皮膚科救急疾患のみかた、疥癬の早期診断治療
高橋さつき先生：院内癌登録について
- 6月29日(木)
齊藤研院長、医事課長：保険診療上の注意(2)
終了後打ち上げ(9階レストラン)
- 院外講師招聘予定
献血について：血液センター 面川先生
救急診療のポイント：福井大学 寺澤秀一教授
精神科疾患のみかた：横手興生病院 杉田院長
皮膚科救急疾患のみかた、疥癬の早期診断治療：すずき皮膚科院長
腎疾患のみかた：秋田大学 奥山慎准先生准教授
画像診断：岩手県立中部病院 熊坂由紀子先生
神経内科疾患について：東北医科薬科大学 藤盛寿一准教授
- その他
心エコーのハンズオン
腹部エコーのハンズオン
麻酔科指導医のもとでの挿管実習

別紙様式

研 修 申 込 書

平成 年 月 日

平鹿総合病院院長 殿

住 所

氏 名

印

私は下記のとおり、貴病院において研修を受けたいので申込みいたします。

記

1. 研修期間 平成 年 月 日から
平成 年 月 日まで

2. 将来希望している診療科 (科)